

2025 年度

授業概要

科目名		徒手理学療法学		授業の種類	講義	講師名		
授業回数	8回	時間数	15時間 (1単位)	配当学年・時期	理学療法士科4年		必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕								
理学療法士は臨床において徒手理学療法を実施する場面も多い。 徒手療法には様々な方法があり、臨床で実施されている。 この授業では基礎的な内容の習得を目的とする								
〔授業全体の内容の概要〕								
主に腰痛に対する理学療法を中心に行う。 基礎的な知識面に関しては座学を行い、手技に関しては実技を実施する。								
〔講師の実務経験〕								
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕								
各項目における基礎的な知識と実技を習得する								
回数	講義内容							
1	腰部下肢骨盤帯の解剖学と運動学 触診を含めた基礎的実技							
2	問診とスクリーニング							
3	検査（神経症状の確認、ストレステスト、筋への検査）							
4	検査（神経症状の確認、ストレステスト、筋への検査）							
5	検査（神経症状の確認、ストレステスト、筋への検査）							
6	治療（モビライゼーション、スタビライゼーション、姿勢指導）							
7	治療（モビライゼーション、スタビライゼーション、姿勢指導）							
8	治療（モビライゼーション、スタビライゼーション、姿勢指導）							
【 準備学習・時間外学習 】								
【 使用テキスト 】								
書籍名				著者名		出版社		
腰痛に対する基礎的リハビリテーション				吉田優也		滋慶出版		
【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】								
筆記試験で判定する								